

中国・四国地方①

地図を完成させよう

本誌 P.30

- 中国山地
- 瀬戸内海
- 四国山地
- 鳥取砂丘
- 讃岐平野
- 高知平野

讃

A 教科書で確認

本誌 P.30

- 山陰
- 瀬戸内
- 南四国
- 季節風(モンスーン)
- 東西
- 南北
- 高速道路
- 瀬戸大橋
- 瀬戸内しまなみ海道
- 経済

海

「街」ではない。

B 力をつけよう

本誌 P.31

- 四国山地
- 山陽
- 黒潮(日本海流)
- I 鳥取
II 高知
III 高松
- (例) 夏と冬の季節風が山地にさえぎられるため、降水量が少ない。
- ため池

B+ 資料の活用

- X
- 本州四国連絡橋
- 明石海峡大橋
- ① フェリー
② 自動車
③ (例) 廃止されたり、便の数が減ったりした
- (例) 大都市に買い物に行く人が増えたから。

- (1) 四国山地は、1500mを超える険しい山が多い。
- (4) 日本海側に位置する山陰は北西の季節風の影響で冬の降水量が多く、太平洋側の南四国は南東の季節風や台風の影響で夏の降水量が多い。

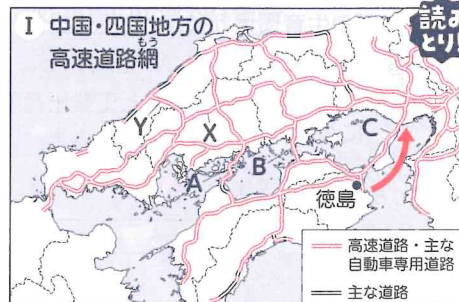
「まるつけのミカタ!」(5)
ここがカギ 「季節風が山地にさえぎられるため、降水量が少ない」ということを書く。
これもOK 山地にはさまれていて季節風の影響を受けにくいので、降水量が少ない。

B+ 資料の活用

- (1) X は中国自動車道で1983年、Y は浜田自動車道で1991年に全線開通した。
- (4) B は1988年に開通した瀬戸大橋である。II から、瀬戸大橋開通前の自動車通行の手段はフェリーのみだったこと、瀬戸大橋開通後の2017年度には橋の通行量が多くなり、フェリーによる通行量が激減していることが読み取れる。

「まるつけのミカタ!」(4)③
ここがカギ 「廃止されたり、便数が減ったりした」ということを書く。
これもOK 「なくなった」、「便が減った」

「まるつけのミカタ!」



例えば、徳島県の人々が、神戸市へ買い物に行くなど。

橋の開通により、移動が便利になった。
↓
地元だけでなく、他地域の大都市で買い物をするようになった。
↓
地方都市の消費が落ち込む。

(例) 大都市に買い物に行く人が増えたから。

ここがカギ 「大都市へ買い物に行くようになった」ということを書く。
これもOK 大阪や神戸などの大都市へ買い物に行くようになったから。

大都市には大型の店舗が多いから、買い物をするのに便利だね。

中国・四国地方②

A 教科書で確認

本誌 P.32

- 瀬戸内工業地域
- 重化学
- 岡山
- 山口
- コンビナート
- 輸送機械

化
「科」ではない。

- かんきつ
- 品種改良
- 促成栽培
- 鮮度(新鮮さ)

- 過疎
- 高齢
- 地域おこし
- 島根県
- 鳥取県

齢

B 力をつけよう

本誌 P.33

- プラスチック
医薬品
※順不同可。
- A
- (例) 船での原料の輸入や大きく重い製品の輸送に便利だから。
- (例) みかんとは収穫時期が異なるかんきつ類を生産している。
- B
- 石見銀山
- 3
- ① 県外
② (例) 交通網が整備されたこと

B+ 資料の活用

- ① 12
② 8
- (例) ほかの産地からの出荷が少なく、価格が高い時期。

- (1) 鉄鋼は金属工業、衣類は繊維工業の製品である。
- (2) 水島地区は岡山県倉敷市にある。

「まるつけのミカタ!」(3)
ここがカギ 「船による原料の輸入や大きく重い製品の輸送に便利」ということを書く。
これはNG 製品を輸送しやすいから。→内陸部の高速道路沿いにもあてはまる。

「まるつけのミカタ!」(4)
ここがカギ 「みかんとは収穫時期が異なる」ということを書く。
これもOK 品種改良により、みかんの収穫時期と重ならないかんきつ類を生産している。

2(3) グラフ中の「中国自動車道全線開通」「浜田自動車道全線開通」のあとの県外観光客の増加に着目する。

「まるつけのミカタ!」(3)②
ここがカギ 「交通網の整備」について書く。
これもOK 道路が整備されたこと

B+ 資料の活用

- (2) なすは、本来は夏が旬の野菜であるが、温暖な気候の高知県では、冬から春にかけて栽培し、価格が高い時期に多く出荷している。

「まるつけのミカタ!」

東京へ出荷されるなすの量と価格



高知県の出荷量が多い時期はいつなのか、その時期の、ほかの産地の出荷量や価格はどうなっているかを読み取ろう。

(例) ほかの産地からの出荷が少なく、価格が高い時期。

ここがカギ ① 「ほかの産地の出荷が少なく」 ② 「価格が高い」時期ということを書く。

これもOK ほかの産地の生産量が少なく、価格が高い冬から春にかけての時期。



ポイントの整理

中国・四国地方

- | | | |
|--------------|------------|--------------|
| ① 中国山地 | ⑥ 黒潮(日本海流) | ⑪ 本州四国連絡橋 |
| ② 四国山地 | ⑦ 離島(島) | ⑫ 瀬戸内工業地域 |
| ③ 讃岐平野 | ⑧ 過疎 | ⑬ 石油化学コンビナート |
| ④ 高知平野 | ⑨ 促成栽培 | ⑭ ストロー現象 |
| ⑤ 季節風(モンスーン) | ⑩ 岡山 | ⑮ 地域おこし |

本誌 P.35

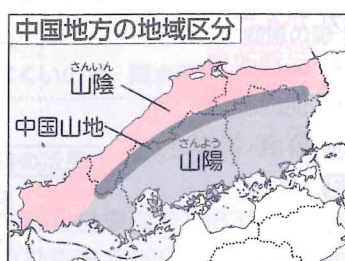


確かめ問題

中国・四国地方

- ①
- (1) A
- (2) (例) 降水量が少ないため、水不足に備える必要があったから。
理由
- (3) ① 香川
② 高松
- (4) B エ
C イ
- (5) 石油化学コンビナート
- (6) ウ
- (7) ア
- (8) (例) フェリーの運航に制限されることなく、短時間で往来できるようになったから。
理由

- ① (1) 中国地方のうち、中国山地の南側を山陽とよぶこともある。
- (2) 二つの山地によって、夏と冬の季節風がさえぎられるため、瀬戸内は一年を通して降水量が少ない。



② まるつけのミカタ! (2)

ここが **カギ** 「降水量(雨)が少ない」ため、「水不足に備える必要があった」ということを書く。

これは **NG** 水不足に備えなければならなかったから。→ 気候についてふれていない。

- (3) 条件1にあてはまるのは広島県と香川県で、このうち条件2にあてはまるのは香川県。
- (4) アは「日本最大級の砂丘」などから鳥取県、ウは「なすやピーマンなどの促成栽培」から高知県について述べていると分かる。
- (6) ウは「大阪へ行く買い物客が増えている」が正しい。
- (8) III から、次のことを読み取る

フェリーの利用と、フェリーから別の交通機関を乗り継ぐ手間がなくなった。

移動にかかる時間が、大幅に短縮された。

1985年以前		1990年以降	
岡山市	鉄道、バス、 自家用車	岡山市	鉄道、バス、 自家用車
(フェリー)			
高松市	鉄道、バス、 自家用車	高松市	鉄道、バス、 自家用車
最短時間 2時間10分		最短時間 1時間13分	

③ まるつけのミカタ! (8)

ここが **カギ** 「フェリーの運航に制限されることなく」、「短時間で往来(移動)できるようになった」ということを書く。

これも **OK** フェリーを利用することなく、鉄道や自家用車などによって短時間で移動できるようになったから。

本誌 P.34

書きトレ!

短文記述の書き方 練習編1

その1

- (1) 二酸化炭素などの温室効果ガスを排出し、地球温暖化を引き起こすこと。
- (2) (例) 輸入した原料を基に、工業製品を作って輸出する貿易。
- (3) (例) シラスは水を通しやすく、農業用水の確保が難しいから。
理由

その2

- (1) 高齢化が進み、(例) 後継者が不足していること。
- (2) 九州地方は、(例) 火山が多いから。
理由

その3

- (1) 1930年と比べて、(例) 年少人口の割合が低く、(例) 老年人口の割合が高いこと。
- (2) (例) 日本よりも低い賃金で労働者を雇うことができるから。
理由
- (3) (例) 自動車による橋の通行量が増えて、フェリーの利用者が減少したから。
理由

文末に注意!
条件も注意!



その2 次に「問題の条件」に合わせて書こう!

- (1) 近年は、農業に就こうとする若い人が減っており、高齢化の進行と後継者不足が課題になっている。

チェックポイント

- ☐ 「高齢化」「後継者」という語句を使った。
- ☐ 高齢化の進行と後継者の不足について書けた。

- (2) 地熱発電所では、火山活動で生じる地熱をエネルギーとして利用し、発電を行っている。

チェックポイント

- ☐ (句読点を含め、) 15字以内にまとめられた。
- ☐ 「火山が多い」ということが書けた。

その3 さらに「資料」を読み取って書こう!

- (1) 1930年と2017年の人口ピラミッドを比較すると、年少人口の割合が大きく減っている一方、老年人口の割合が大きく増えていることが読み取れる。

チェックポイント

- ☐ 1930年と2017年を比べて書けた。
- ☐ これも **OK** 1930年と比べて、子どもが占める割合が低く、高齢者が占める割合が高いこと。

- (2) 表から、日本と比べると東南アジアの国々の賃金が低いことが読み取れる。企業は、製品の生産にかかる費用をおさえるため、より低い賃金で労働力が得られる地域に進出している。

チェックポイント

- ☐ 表から読み取れることについて書けた。
- ☐ 「低い賃金で労働者を雇える」ということが書けた。

- (3) グラフから、瀬戸大橋の開通後はフェリーを利用する自動車が大幅に減り、ほとんどの自動車が橋を利用するようになったことが読み取れる。

チェックポイント

- ☐ 「橋の通行量が増え、フェリーの利用が減少した」ということが書けた。

近畿地方①

地図を完成させよう

本誌 P.38

- ① 京都盆地
- ② 淀川
- ③ 奈良盆地
- ④ 紀伊山地
- ⑤ 琵琶湖
- ⑥ 伊勢湾
- ⑦ 志摩半島

教科書で確認

本誌 P.38

- ① リアス海岸
- ② 季節風(モンスーン)
- ③ 黒潮(日本海流)
- ④ ため池
- ⑤ ニュータウン
- ⑥ 人口の増加によって住宅地が不足したから。
- ⑦ (例)六甲山地を削り取って造成された。

力をつけよう

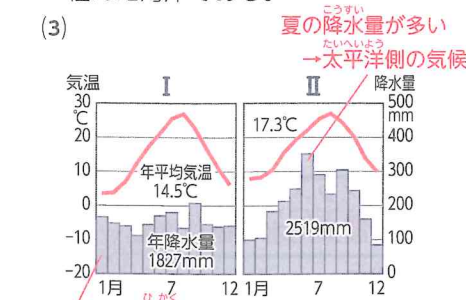
本誌 P.39

- ① 滋賀
- ② 若狭湾
- ③ I 舞鶴
II 潮岬

資料の活用

- ① りん
- ② 合成洗剤
- ③ 粉せっけん
- ④ 商業
- ⑤ 京阪神大都市圏
- ⑥ ① 大阪(市)
- ⑦ (例)市街地が広がっている
- ⑧ ① ニュータウン
- ⑨ (例)人口の増加によって住宅地が不足したから。
- ⑩ (例)六甲山地を削り取って造成された。

- ① (2) リアス海岸は、海岸線が複雑に入り組んだ海岸である。
- ③



冬の降水量が比較的多い
→日本海側の気候

資料の活用

- ② 江戸時代の大阪は、全国から米や各地の特産物が集まり売買される商業の中心地であった。
- ③ 京阪神大都市圏は、東京大都市圏に次いで人口が集中している。

④ ② 「市街地が広がっている」ということを書く。

⑤ ② 「人口の増加により住宅地が不足した」ということを書く。
これもOK 人口が増加して過密になった都市の中心部で、住宅が不足するようになったから。

まるつけのミカタ!

山を削って住宅地が造られた。



削り取られた土砂は臨海地域の埋め立てに利用された。

(例)六甲山地を削り取って造成された。

ここがカギ 「六甲山地を削って」造られたことを書く。
これもOK 六甲山地の土砂を削って造った平地に造成された。

神戸市は、六甲山地が海岸まで迫っていて、平坦な土地が少なかったよ。山地を削ることで、住宅地を確保したんだね。

近畿地方②

教科書で確認

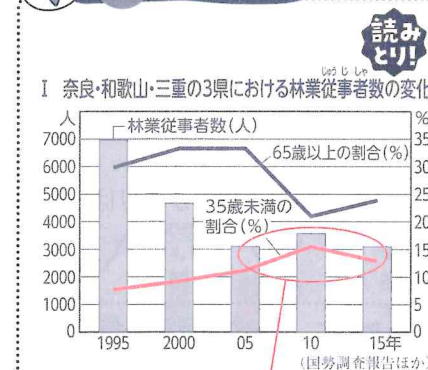
本誌 P.40

- ① 阪神工業地帯
- ② 公害
- ③ 埋め立て
- ④ 環境
- ⑤ 中小企業
- ⑥ 奈良
- ⑦ 古都
- ⑧ 伝統的工芸品
- ⑨ 電線
- ⑩ 雨(降水量)
- ⑪ 外国(海外)
- ⑫ 高齢
- ⑬ 地球温暖化
- ⑭ 環境林
- ⑮ 養殖

殖

「植」ではない。

まるつけのミカタ!



2003年以降、林業従事者数に占める35歳未満の割合は高まっている。

力をつけよう

本誌 P.41

- ① 地盤沈下
- ② イ、ウ ※順不同可。
- ③ 東大阪
- ④ 奈良
- ⑤ 45.9
- ⑥ 清水焼、西陣織 ※順不同可。
- ⑦ (例)伝統的な住居を保存するため。
- ⑧ 吉野すぎ
- ⑨ (例)林業従事者数は減り続けている。
- ⑩ (例)林業従事者数に占める35歳未満の割合が高まった。

資料の活用

- ① 吉野すぎ
- ② (例)林業従事者数は減り続けている。
- ③ (例)林業従事者数に占める35歳未満の割合が高まった。

- ① (1) 阪神工業地帯では、かつては地盤沈下のほか、工場の排煙による大気汚染も発生していた。
- ② (1) 奈良は、710年に平城京が置かれるなど、かつて日本の政治や文化の中心であった。

重要 古都奈良・京都

	置かれた都	文化財
奈良	平城京など	東大寺、春日大社など
京都	平安京など	清水寺、八坂神社など

- ③ 輪島塗は石川県、南部鉄器は岩手県の伝統的工芸品である。

④ 「伝統的な住居(町家)を保存する」ということを書く。
これもOK 伝統的な住居(町家)を保存し、後世に受け継いでいくため。

資料の活用

- ① 紀伊山地で育つ「吉野すぎ」や「尾鷲ひのき」は、高級木材として知られている。

② 「林業従事者が減っている」ということを書く。

Ⅱ 「緑の雇用」制度
国や自治体が行っている、林業の知識や技能が習得できるように支援する制度。2003年から開始された。

「緑の雇用」制度が開始された2003年以降に着目しよう。

(例)林業従事者数に占める35歳未満の割合が高まった。

ここがカギ 林業従事者数に占める「35歳未満の割合が高まった」ということを書く。

これもOK 制度が開始された2003年以降、林業従事者数に占める35歳未満の割合が高くなった。



ポイントの整理

近畿地方

- | | | | |
|--------------|------------|----------|--------|
| ① 琵琶湖 | ⑥ ため池 | ⑪ 林業 | ⑬ 太陽光 |
| ② 大阪平野 | ⑦ 黒潮(日本海流) | ⑫ 阪神工業地帯 | ⑭ 中小企業 |
| ③ 紀伊山地 | ⑧ リアス海岸 | ⑬ 太陽光 | ⑮ 水道水 |
| ④ 志摩半島 | ⑨ 京阪神大都市圏 | ⑭ 中小企業 | |
| ⑤ 季節風(モンスーン) | ⑩ ニュータウン | ⑮ 水道水 | |

本誌 P.43

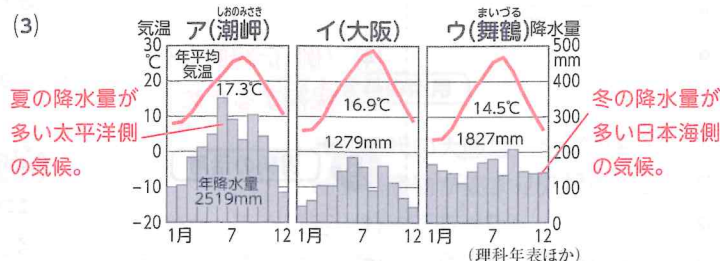


確かめ問題

近畿地方

- ①
- (1) 紀伊山地
- (2) イ, エ
※順不同可。両方できて得点。
- (3) X ウ
Y イ
Z ア
- (4) (例)大都市の郊外の丘陵地に多く造られている。
- (5) 阪神工業地帯
- (6) ① イ
② ウ
- (7) (例)歴史的景観を保全するため、電線を地中に埋めて電柱をなくした。

- ①(2)イは若狭湾、エは志摩半島で、いずれにも入り江に複雑なりアス海岸が見られる。



- (4)京阪神大都市圏では人口の増加により住宅地が不足したため、1960年代から大都市の郊外で大規模な住宅団地の開発が進められた。

【まるつけのミカタ!】(4)
ここがカギ 「大都市の郊外」の「丘陵地に多く造られている(立地している)」ということを書く。

これもOK 大都市の周辺の丘陵地に多く立地している。

- (5)阪神工業地帯は、他の工業地帯と比べて金属工業や化学工業が盛んなのが特徴である。
- (6)地図中のAは滋賀県、Bは兵庫県、Cは奈良県、Dは和歌山県。
①ほかのグラフと比べて和歌山県の金額が高いイと判断できる。和歌山県ではみかんやうめなどの生産が盛んである。
②大阪府、兵庫県、次いで三重県の高額が高いウと判断できる。大阪府と兵庫県は阪神工業地帯、三重県は中京工業地帯に含まれており、工業が盛んである。
- (7)2枚の写真から、景観をそこの電線や電柱が取りはらわれたことが読み取れる。

【まるつけのミカタ!】(7)
ここがカギ 「歴史的景観を保全するために、電線や電柱をなくした」ということを書く。

これはNG 歴史的な景観を保護するため。→景観の変化を述べていない。

本誌 P.42

第3章 日本の諸地域

中部地方①

地図を完成させよう

本誌 P.44

- ① 信濃川
② 飛騨山脈
③ 若狭湾
④ 濃尾平野
⑤ 越後平野
⑥ 甲府盆地
⑦ 富士山



A 教科書で確認

本誌 P.44

- ①
- ⑧ 日本アルプス
⑨ 東海
⑩ 北陸
⑪ 中央高地
- ②
- ⑫ 自動車
⑬ 豊田
⑭ 船(船舶)
⑮ 内陸
⑯ 臨海
⑰ 名古屋

B 力をつけよう

本誌 P.45

- ①
- (1) 中京工業地帯
(2) ① 石油製品
② 鉄鋼
③ ファインセラミックス
(3) (例)多くの部品を組み立てて、製品を造る工業だから。
- (4) 名古屋大都市圏

B+ 資料の活用

- (1) A 木曽山脈
B 赤石山脈
(2) ① 天竜川
② 洪水
(3) 左下の図を参照。
(4) I Y
II X
(5) (例)季節風(モンスーン)の影響を受けるため、冬の降水量が多い。

- ①(2)③ファインセラミックスは、耐熱性や硬さに優れた、陶磁器などに代表される非金属・無機物を焼き固めたもので、さまざまな製造業で利用されている。
- (3)1台の自動車には、約3万点ともいわれる数多くのさまざまな部品が必要である。

【まるつけのミカタ!】(3)
ここがカギ 「多くの部品を組み立てて造る」ということを書く。

これはNG 流れ作業で造られているから。

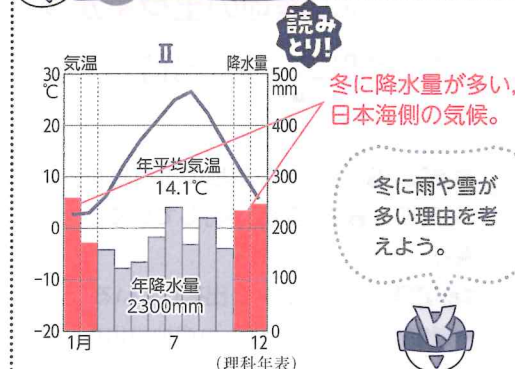
→関連工場が集まることの説明ではない。

(4)Xの都市は名古屋市である。

B+ 資料の活用

- (2)①写真の河川は、左から揖斐川、長良川、木曽川である。天竜川は、静岡県の遠州灘に注ぐ川である。
②写真の中央には、輪中とよばれる、洪水防止のために輪のように堤防で囲まれた集落が見られる。集落の内部には、河川よりも標高が低い場所もある。
- (4)Iは冬の気温が低く、降水量が少ないことから、中央高地のY(諏訪)があてはまる。IIは冬の降水量が多いことから、北陸のX(富山)があてはまる。

【まるつけのミカタ!】



(例)季節風(モンスーン)の影響を受けるため、冬の降水量が多い。

ここがカギ ①「(冬の)季節風の影響」で ②「冬に降水量が多い」ということを書く。

これもOK 冬の季節風が日本海から水分を含んだ空気を運んでくるので、雨や雪が多い。

中部地方②

A 教科書で確認

本誌 P.46

- ① 東海工業地域
- ② 茶
- ③ 園芸農業
- ④ 抑制栽培
- ⑤ 遠洋漁業
- ② 扇状地
- ⑦ 製糸業
- ⑧ 果樹(果物)
- ⑨ 高原野菜
- ⑩ 精密機械
- ③ 越後平野
- ⑫ 銘柄米
- ⑬ 単作(一毛作)
- ⑭ 地場産業
- ⑮ 水力

制

▲「成」「性」ではない。

銘

B 力をつけよう

本誌 P.47

- ① A 茶
B キャベツ
C 菊
- ② 渥美半島
- ③ (例) 冬でも温暖で、温室の暖房にかかる燃料費を抑えることができるから。
- ② 桃
- ② ウ、エ
※順不同可。
- ③ A 輪島塗
B 小千谷縮
- ④ (例) 雪に覆われて農作業を行えない冬の期間の農家の副業から発達した。

B+ 資料の活用

- ① ① 8 ② 涼しい
- ② 抑制栽培
- ③ (例) ほかの産地の出荷量が少ない時期に多く出荷している。

- ① (1) 愛知県の占める割合が高いBとCのうち、Cの菊は九州地方の県が上位を占めている。
(2) 菊やキャベツなどの生産が盛ん。
(3) 施設園芸農業はガラス温室やビニールハウスなどの設備を用いる園芸農業。



まるつけのミカタ! (3)

ここがカギ 「冬でも温暖であり、施設の暖房にかかる費用を抑えられる」ということを書く。

- ② (2) 諏訪盆地では、第二次世界大戦後に精密機械工業が発達し、近年は電気機械工業が盛んになっている。
(3) 清水焼と西陣織は京都府の伝統的工芸品である。
(4) 日本海側の北陸では、冬は雪に覆われるために農作業ができなくなる。



まるつけのミカタ! (4)

ここがカギ 「雪で農作業ができない冬に行う農家の副業として発達した」ということを書く。

これもOK 冬は雪に覆われて農作業ができないため、農家が副業として始めて発達した。



B+ 資料の活用

- (1) (2) 抑制栽培は夏でも涼しい気候を生かして行われている。

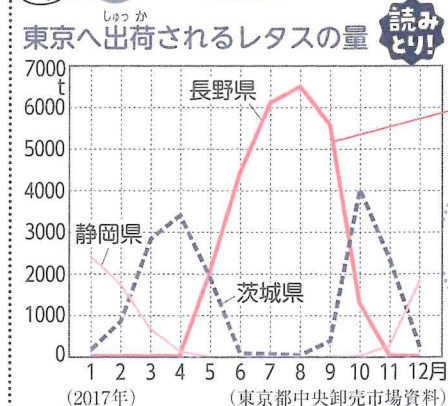
(例) ほかの産地の出荷量が少ない時期に、多く出荷している。

ここがカギ ①「ほかの産地の出荷量が少ない」時期に②「多く出荷」していることを書く。

これはNG 5～9月に多く出荷している。

→指定語句がなく、ほかの産地の出荷時期と比較していない。

まるつけのミカタ!



ほかの地域の出荷量が少ない6～9月に、長野県の出荷量が多い。

静岡県や茨城県は、夏にほとんど出荷していないね。



ポイントの整理

中部地方

- ① 越後平野
- ② 信濃川
- ③ 濃尾平野
- ④ 赤石山脈
- ⑤ 日本アルプス
- ⑥ 日本海
- ⑦ 名古屋大都市圏
- ⑧ 茶
- ⑨ 施設園芸農業
- ⑩ 扇状地
- ⑪ 養蚕
- ⑫ 高原野菜
- ⑬ 銘柄米
- ⑭ 中京工業地帯
- ⑮ 自動車
- ⑯ 東海工業地域
- ⑰ 精密機械工業
- ⑱ 地場産業

本誌 P.49



確かめ問題

中部地方

- ① (1) イ
(2) ① (例) 全国に比べて、農業産出額全体に占める米の割合が高い。
② P B
Q E
R A
(3) 記号 C
県名 山梨
※両方でできて得点。
(4) (例) 大規模な用水路が整備されたから。
(5) ① ウ
② ア
(6) (例) 季節風の影響で雪が多いため、農作業ができない

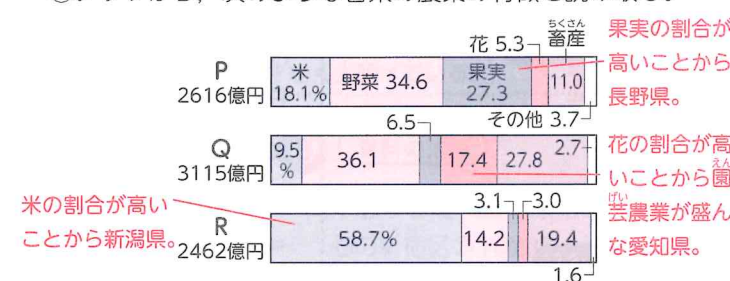
- ① (1) 越後平野は、新潟県の稲作が盛んな平野。飛騨山脈は、富山県、新潟県、岐阜県、長野県の4県にまたがる山脈である。
(2) Aは新潟県、Bは長野県、Eは愛知県である。



まるつけのミカタ! (2)①

ここがカギ 「農業産出額全体に占める米の割合が高い」ということを書く。
これはNG 全国と比べて、米の生産量が多い。→生産量は全国のほうが多い。

② グラフから、次のような各県の農業の特徴を読み取る。



- (3) 山梨県では、甲府盆地の扇状地で、ぶどうやものの生産が盛ん。
- (4) 愛知県の渥美半島や知多半島には大きな川がなく、水不足になやまされてきたが、第二次世界大戦後、渥美半島には豊川用水、知多半島には愛知用水が整備され、水不足は解消した。



まるつけのミカタ! (4)

ここがカギ 大規模な「用水路が整備された」ということを書く。
これもOK 渥美半島には豊川用水、知多半島には愛知用水が整備されたから。

- (6) IIからは福井市は冬の降水量が多いこと、IIIからは冬に北西の季節風が吹くことが読み取れる。



まるつけのミカタ! (6)

ここがカギ 「季節風の影響」により「雪が多い」ため、「農作業ができない」ということを書く。
これはNG 雪が多く降り、農作業ができない。→IVから読み取れる季節風についてふれていない。

①九州地方

ウォームアップ

① 離島

② 25

チャレンジ

エ

②近畿地方

ウォームアップ

X 京都府

Y 滋賀県

Z イ

チャレンジ

奈良県 ウ

和歌山県 ア

③中国・四国地方

ウォームアップ

① 取扱数量

② 少ない

③ 国産

④ 高く

チャレンジ

(例) 他の時期に比べて高値で出荷することができるから。

【別解】国内の取扱数量が少ない時期に、高値で出荷するため。
理由

④中国・四国地方～中部地方

ウォームアップ

① イ

② エ

③ 石油化学

④ ウ

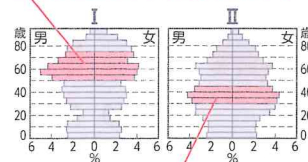
チャレンジ

瀬戸内工業地域 エ

東海工業地域 ア

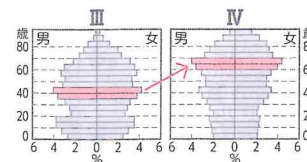
①九州地方

老年人口(65歳以上)や、その付近の年齢の人々の割合が高い。



生産年齢人口の割合が比較的高い。

1990年のある年代の人口は、2015年には、人口ピラミッドで25年分上部に移動して表れている。



比較的高い年代に着目すると、Ⅲの35～45歳の人々とⅣの60～70歳の人々は同じであると考えられる。

②近畿地方

	人口 (万人)	人口密度 (人/km ²)	農業生産額 (億円)	漁業生産額 (万トン)
ア	93	195.8	1158	1.9
イ	258	560.1	704	1.2
ウ	133	360.3	407	0.002
エ	141	352.0	641	0.1

4府県で最も人口が多い。
→京都府

特に少ない2県は海に面していない。
→奈良県と滋賀県

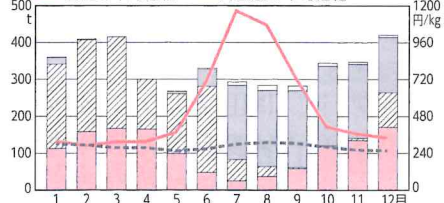
特に多い2県は都がかつてあった。
→奈良県と京都府

③中国・四国地方

日本国内産と外国産の取扱数量と平均価格を比較すると次のことが分かる。

東京中央卸売市場におけるレモンの産地別取扱数量と平均価格

■日本国内産 ■アメリカ ■チリ ■その他
— 国産の平均価格 — 外国産の平均価格



6月から8月に出荷すると、日本国内産の取扱数量が少ないことから、高い価格で出荷できていることが分かる。

日本国内産

【取扱数量】6月から8月は少ない。

【平均価格】6月から8月にかけ高い。

外国産

【取扱数量】ほぼ一年を通して日本国内産より多い。

【平均価格】一年を通して変化が小さい。

④中国・四国地方～中部地方

	製造品出荷額の割合(%)						製造品出荷額 (百億円)
	鉄鋼・金属	機械	化学	食品	繊維	その他	
ア	7.8	51.7	16.0	13.7	0.7	10.1	1691
イ	9.4	69.4	10.8	4.7	0.8	4.9	5779
ウ	20.7	36.9	21.7	11.0	1.3	8.4	3315
エ	18.9	35.1	27.2	8.1	2.1	8.6	3082

金属の割合が高く、化学はそれほど高くない。
→阪神工業地帯

金額が最も低いことから、規模が小さな工業地域。→東海工業地域

金額が最も高いことから、規模が最も大きな工業地帯。→中京工業地帯

関東地方①

地図を完成させよう

本誌 P.52

- 越後山脈
- 関東平野
- 関東山地
- 東京湾
- 霞ヶ浦
- 利根川
- 房総半島

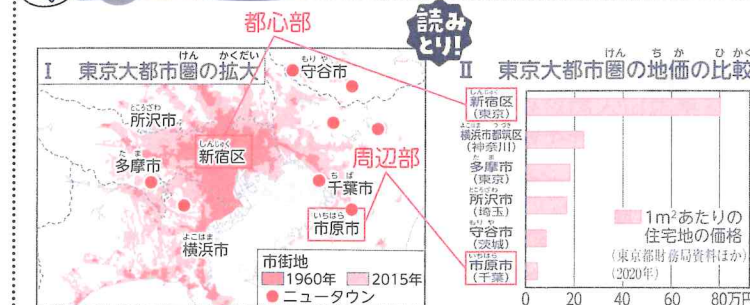
霞

教科書で確認

本誌 P.52

- 関東ローム
- 季節風(モンスーン)
- 黒潮(日本海流)
- ヒートアイランド現象
- 夜間人口
- 昼間人口
- 東京国際空港(羽田空港)
- 東京大都市圏
- ニュータウン
- 再開発

まるつけのミカタ!



市街地は、1960年から2015年にかけて周辺部へと広がっている。

地価は都心から離れるほど安くなる。→周辺部

B 力をつけよう

本誌 P.53

1

- 前橋
- 乾いた風
- 埋め立て

2

- 外資系企業
- ① 練馬区
- ② 千代田区
- (例) 通勤や通学をしてくる人が多いため、夜間人口よりも昼間人口が多い。

B+ 資料の活用

- 横浜市
- 千葉市
- ※順不同可。
- 都市問題
- (例) 東京の中心部に近いほど、地価が高い。
- (例) 地価が安い周辺に広がっている。

1 (1) I は年間を通して降水量が少ないことから、内陸の前橋である。

(2) 冬に吹く北西の季節風は、越後山脈などにぶつかって雪を降らせたあと、乾いた風となって関東平野に吹き降ろす。

2 (2) 昼は都心の職場や学校などに移動し、夜は郊外の住宅に帰る人が多い。このことから、昼間人口が多い千代田区が都心、夜間人口が多い練馬区が郊外であると判断できる。

(3)

まるつけのミカタ!

ここがカギ 「通勤や通学をしてくる人が多いため、夜間人口よりも昼間人口が多い」ということを書く。

これもOK 周辺地域から通勤や通学をしてくる人が多いため、昼間人口が夜間人口を大きく上回っている。

B+ 資料の活用

(3) 中心から離れた市原市の地価は、中心の新宿区の10分の1以下と分かる。

まるつけのミカタ!

ここがカギ 「東京の中心部に近い(遠い)」ほど「地価が高い(安い)」ということを書く。
これもOK 東京の中心部から距離が離れるほど、地価が安い。

(例) 地価が安い周辺に広がっている。

ここがカギ 「地価が安い周辺に広がっている」ということを書く。

これもOK 地価が安い郊外へ広がっている。

関東地方②

A 教科書で確認

本誌 P.54

- ① 情報通信技術関連産業 (ICT関連産業)
- ② サービス業
- ③ 商業
- ④ 京浜工業地帯
- ⑤ 印刷業
- ⑥ 輸入
- ⑦ 輸出
- ⑧ 火力
- ⑨ 京葉工業地域
- ⑩ 工業団地
- ⑪ 北関東工業地域
- ⑫ 近郊農業
- ⑬ 道路網 (高速道路)
- ⑭ 人口 (若者)
- ⑮ Uターン
- ⑯ Iターン

郊

△「効」ではない。

B 力をつけよう

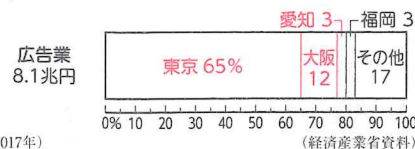
本誌 P.55

- ① 3
- ② 右の図を参照。
- ③ (例) 人と情報が集まるから。
- ④ A ねぎ
B はくさい
C いちご
- ⑤ 時間
費用
※順不同可。
- ⑥ (例) 新鮮さが要求される農産物であること。
- ⑦ (例) 消費地から離れた地域でも生産されるようになった。

B+ 資料の活用

- ① B
- ② 自動車
電気機械
※順不同可。
- ③ (例) 輸送に便利な高速道路の近くに立地している。

①(2)



(2017年)

(経済産業省資料)

③

まるつけのミカタ! (3)

ここがカギ 東京には、「人と情報が集まる」ということを書く。

②(3) 輸送にかかる時間が短くすむので、新鮮な農産物を消費者に届けられることができる。

まるつけのミカタ! (3)

ここがカギ 「新鮮さが要求される」ということを書く。

④

まるつけのミカタ! (4)

ここがカギ 「消費地から遠い地域でも生産されるようになった」ということを書く。

これもOK 消費地から離れた所でも生産されるようになり、生産地域は拡大した。

B+ 資料の活用

(1) 化学の割合が高いBは、京葉工業地域である。千葉県の臨海部では、船舶で輸入した原油を原料とする製油業や石油化学工業が盛んである。

(例) 輸送に便利な高速道路の近くに立地している。

ここがカギ 「高速道路の近く」ということを書く。

これはNG 工場団地に集まっている。
→なぜ工場団地が造られているのか、その背景を答える必要がある。

まるつけのミカタ!

京葉・北関東工業地域の工業出荷額の内訳

	鉄鋼・金属				繊維			
	化学	機械	食品	その他	化学	機械	食品	その他
A 30.7兆円	13.9%	45.0	15.5	8.0	17.0	45.0	15.5	8.0
B 12.2兆円	21.5%	42.7	13.1	15.8	17.0	45.0	15.5	8.0

機械の割合が高い→北関東工業地域

化学の割合が高い→京葉工業地域

読みとり!

内陸型の工業地域

電気機械や自動車の生産が盛ん。

部品や製造した製品を輸送しやすい場所に立地。



ポイントの整理

関東地方

- ① 越後山脈
- ② 関東平野
- ③ 関東山地
- ④ 利根川
- ⑤ 関東ローム
- ⑥ 季節風 (モンスーン)
- ⑦ 3
- ⑧ 東京大都市圏
- ⑨ 夜間
- ⑩ 昼間
- ⑪ 近郊農業
- ⑫ 道路
- ⑬ 高原野菜
- ⑭ 京浜工業地帯
- ⑮ 北関東工業地域
- ⑯ 3
- ⑰ 都市問題
- ⑱ 再開発
- ⑲ 過疎

本誌 P.57



確かめ問題

関東地方

①

- (1) ア
- (2) 記号 D
県名 千葉
※両方でできて得点。
- (3) イ
- (4) ア, エ
※順不同可。
- (5) (例) 大都市の近くで、都市の消費者向けに新鮮な農産物を生産する農業。
- (6) キャベツ
- (7) ① ウ
② イ
- (8) (例) 東京の中心部に集中する都市機能を各地に分散させるため。

(1) 冬に関東地方に吹くのは北西の季節風である。

(4) イ 京葉工業地域は化学の割合が最も高い。
ウ 各工業地帯・地域での鉄鋼・金属の出荷額は次のとおり。
京浜工業地帯は39.7 [兆円] × 0.101 = 4.0097 [兆円]
北関東工業地域は30.7 [兆円] × 0.139 = 4.2673 [兆円]
京葉工業地域は12.2 [兆円] × 0.215 = 2.623 [兆円]
エ 機械の出荷額は、京浜工業地帯は18.0635 [兆円]、京葉工業地域は1.5982 [兆円] となる。
(5) 近郊農業は、大消費地の近くで農産物を生産することで、輸送にかかる時間や費用を抑えることができる。

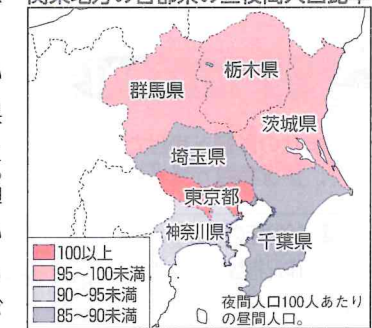
まるつけのミカタ! (5)

ここがカギ 「大都市の近くで、都市の消費者向けに、新鮮な農産物を生産する農業」ということを書く。

これもOK 大都市の周辺で、都市の消費者に向けて野菜や牛乳、果物などを生産する農業。

- (6) 群馬県の嬬恋村ではキャベツの生産が盛ん。
- (7) 昼夜間人口比率が最も高いイは東京都である。茨城県と埼玉県のうち、東京都に近い埼玉県は、東京都に通勤・通学している人が多いので昼夜間人口比率が最も低いアとなる。残ったウが茨城県となる。

関東地方の各都県の昼夜間人口比率



(2015年10月1日現在) (国勢調査報告)

まるつけのミカタ! (8)

ここがカギ 「東京の中心部に集中する都市機能を「各地に分散させる」ということを書く。

これもOK 都心部に集中している都市機能を、周辺の県に分散させるため。

東北地方①

地図を完成させよう

本誌 P.58

- ① 白神山地
- ② 庄内平野
- ③ 山形盆地
- ④ 会津盆地
- ⑤ 北上高地
- ⑥ 三陸海岸
- ⑦ 奥羽山脈
- ⑧ 仙台平野

教科書で確認

本誌 P.58

- ① リアス海岸
- ② やませ
- ③ 伝統行事
- ④ 仙台
- ⑤ 冷害
- ⑥ 減反政策
- ⑦ 小麦

まるつけのミカタ!

やませの影響を受けた太平洋側で、作況指数が低くなっている。



B 力をつけよう

本誌 P.59

- ① A 青森
B 秋田
C 仙台七まつり
- ② ① 稲穂(稲)
② (例) 米の豊作への願い。

2

- ① 27.5
- ② (例) 米の消費量が減り、米が余るようになったから。

- ③ 転作

B+ 資料の活用

- ① 横手
- ② 左下の図を参照。
- ③ (例) やませの影響を受けて、冷害が著しかったから。
- ④ (例) 冷害に強い品種だから。

- ① (2) ② 東北地方の祭りは、地域の農業と深く結び付いている。

まるつけのミカタ! (2) ②
ここがカギ 「米の豊作を願っている」ということを書く。

- ② (2) パンやパスタなどの消費が増えるといった食生活の変化から、米の消費量が減少した。

まるつけのミカタ! (2)
ここがカギ 「米の消費量が減り、米が余るようになった」ということを書く。

これもOK 食生活の変化から米を食べる量が少なくなり、米が余るようになったから。

B+ 資料の活用

- ① 冬に降水量が多いことから、日本海側の気候であることが分かる。
- ③ やませが吹くと、気温が十分に上がらなくなるため、冷害が起こることがある。

まるつけのミカタ! (3)
ここがカギ 「やませの影響を受けて、冷害になった」ということを書く。
これもOK やませが吹いて、冷害となり、稲が十分に育たなかったから。

(例) 冷害に強い品種だから

理由
ここがカギ 「ひとめぼれが「冷害(寒さ)に強い品種である」ということを書く。
これもOK 寒さにも強い銘柄米であるから。

「ひとめぼれ」は、1993年当時広く栽培されていた「ササニシキ」に替わって栽培されるようになった銘柄米だよ。

東北地方②

教科書で確認

本誌 P.60

- ① 扇状地
- ② さくらんぼ
- ③ りんご
- ④ 福島
- ⑤ 潮目(潮境)
- ⑥ リアス海岸
- ⑦ 養殖業

2

- ⑧ 出稼ぎ
- ⑨ 工業団地
- ⑩ 自動車
- ⑪ 原子力
- ⑫ 再生可能エネルギー
- ⑬ 津軽塗
- ⑭ 伝統的工芸品
- ⑮ 岩手

塗

まるつけのミカタ!



出稼ぎ者数が減少している時期が、工業出荷額が増加している時期と重なっていることが読み取れる。

(例) 工業出荷額が増加するにつれて、出稼ぎ者数は減少した。

ここがカギ ①「工業出荷額が増加」するにつれて、②「出稼ぎ者数は減った」ということを書く。
これもOK 工業出荷額が増えたと、出稼ぎ者は少なくなった。

工業出荷額が増加していることから、東北地方へ工場が進出していったことが分かるね。

B 力をつけよう

本誌 P.61

- ① A 山形
B 青森
- ② ほたて
- ③ (例) 波が穏やかだから。

2

- ① A 津軽塗
B 南部鉄器
C 大量将棋駒
D 会津塗
- ② エ
- ③ 風力(風)
- ④ 東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)

B+ 資料の活用

- ① 冬
- ② (例) 工業出荷額が増加するにつれて、出稼ぎ者数は減少した。
- ③ ① 交通網(高速道路)
② (例) 働く場所が増えたから

- ① (1) りんごは冷涼な気候の地域で栽培が盛んである。

(2)

東北地方の主な養殖業

三陸海岸	かき, わかめ, こんぶなど
陸奥湾	ほたて

(3)

まるつけのミカタ! (3)
ここがカギ 湾内や入り江は、「波が穏やか」ということを書く。
これもOK 波が小さく穏やかだから。

- ② (3) 写真は、風力発電で使われる風車。

B+ 資料の活用

- ① 東北地方では、かつて、積雪によって農業ができない冬の間だけ出稼ぎに行く人が多くみられた。
- ③ 工場が誘致されたことで、出稼ぎに行かなくても、地元で働けるようになった。

まるつけのミカタ! (3) ②
ここがカギ 「働く場所が増えた」ということを書く。
これもOK 地元で仕事をする場所が増加したから



ポイントの整理

東北地方

- | | | | |
|---------|--------------|----------|-----------|
| ① 白神山地 | ⑥ 季節風(モンスーン) | ⑪ 山形 | ⑫ 養殖業(養殖) |
| ② 奥羽山脈 | ⑦ やませ | ⑬ 潮目(潮境) | ⑭ 工業団地 |
| ③ 庄内平野 | ⑧ 仙台 | ⑮ 伝統行事 | |
| ④ 仙台平野 | ⑨ 米 | | |
| ⑤ リアス海岸 | ⑩ 冷害 | | |

本誌 P.63



確かめ問題

東北地方

- ①
- (1) C イ
D ア
- (2) (例)国内外から多くの観光客が集まり、新たな観光資源になっている。
- (3) 4
- (4) ① A
② E
- (5) X リアス
Y 潮目(潮境)
- (6) ① やませ
② (例) 平年と比べて夏の日照時間が短く、気温が低かったから。

- ② (1)ウはAの青森県、エはFの福島県の祭りや伝統的工芸品の組み合わせである。東北地方の伝統産業では、全国の他の地域と同様に、職人の高齢化が進み、後継者の不足が課題になっている。
- (2)東北三大祭りと呼ばれるのは、「青森ねぶた祭」、「仙台七夕まつり」、「秋田竿燈まつり」で、特に多くの観光客が集まる祭りとして知られている。

東北地方の主な伝統的工芸品

県	工芸品
青森県	津軽塗
岩手県	南部鉄器
山形県	天童将棋駒
福島県	あいづ塗り

- ③ まるつけのミカタ! (2) ...
ここがカギ 「国内外から多くの観光客が集まり、観光資源になっている」ということを書く。
- これもOK 観光資源として、規模と性格を変えながら行われるようになっている。

- (3) $213.7 \div 778.0 \times 100 = 27.46 \dots$ より、27%ともとめられる。
- (4)①は「りんごの栽培」から青森県、②は「さくらんぼや西洋なし」などを並行して栽培から山形県と読み取ることができる。
- (5)三陸海岸の波の穏やかな入り江では養殖業が盛ん。沖合いの黒潮と親潮が出会う潮目(潮境)は、暖流と寒流のそれぞれから魚が集まる豊かな漁場となっている。
- (6)①やませが吹くと、霧や雲が発生し日照時間が短くなり、気温が十分に上がらなくなる(冷害)。そのため、稲などの農作物が十分に育たなくなり、冷害が起きる。
- ②Ⅱからは6月と7月の月間日照時間が平年値を大きく下回っていること、Ⅲからは7月と8月の月間平均気温が平年値を下回っていることが、それぞれ読み取れる。

- ④ まるつけのミカタ! (6)② ...
ここがカギ 「平年と比べて夏の日照時間が短く、気温が低かった」ということを書く。
- これもOK 平年値と比べて夏の月間日照時間が短く、気温も低かったから。

本誌 P.62

第3章 日本の諸地域

北海道地方①

地図を完成させよう

本誌 P.64

- ① 石狩川
② 石狩平野
③ 洞爺湖
④ 択捉島
⑤ 知床半島
⑥ 根釧台地
⑦ 十勝平野



A 教科書で確認

本誌 P.64

- ①
- ⑧ 有珠山
⑨ 亜寒帯(冷帯)
⑩ 濃霧
⑪ 流氷
- ②
- ⑫ 札幌
⑬ 利尻
- ③
- ⑭ 泥炭地
⑮ 屯田兵
⑯ 寒さ(低温)
⑰ 減反政策



B 力をつけよう

- ①
- (1) 梅雨
(2) 記号 Y
名称 オホーツク海
(3) I 釧路
II 網走
III 札幌

- ②
- (1) ① (例) 積雪量が多い地域で、道路の両端の位置を示すため。

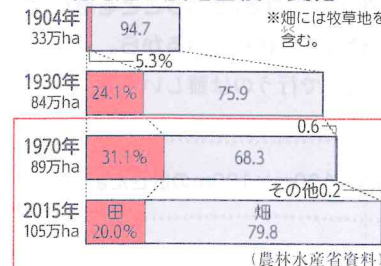
- ② X
(2) ア
(3) 開拓使

B+ 資料の活用

- (1) (例) 客土によって土地を改良して、農地が整備されたから。
- (2) 品種改良
※漢字4字でなければ不可。
- ③ (例) 減反政策の下で転作が進められたため、面積が減った。

まるつけのミカタ!

I 北海道の農地面積の変化



田の割合が減り、畑の割合が増えている。

読みとり!

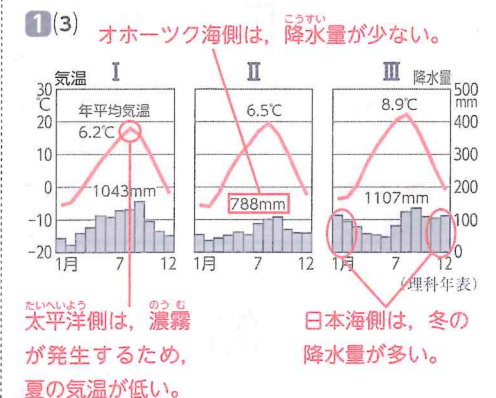
(例) 減反政策の下で転作が進められたため、面積が減った。

ここがカギ ①「減反政策の下で転作」が進められ、②「面積が減った」ということを書く。

これもOK 転作が行われたため、田の面積が減った。

本誌 P.64, 65

本誌 P.65



②(1)①写真中の標識は、矢羽根とよばれるものである。

まるつけのミカタ! (1)①
ここがカギ 「道路の端の位置を示す」ということを書く。

これはNG 積雪の量を示すため。

→正しい目的が書けていない。

②写真中の防雪柵に着目する。防雪柵は、道路の風上側に設けられ、道路に雪が吹きこまないようにする役割がある。

B+ 資料の活用

(1)石狩平野には、もともと農業に向かない泥炭地が広がっていた。

まるつけのミカタ! (1) ...
ここがカギ 「土地を改良して、農地が整備された」ということを書く。

北海道地方②

A 教科書で確認

本誌 P.66

1

- ① 小麦
② てんさい
③ 輪作
④ (農業) 機械
⑤ 酪農
⑥ 根釧台地
⑦ 食品
⑧ 北洋漁業
⑨ 排他的経済水域
⑩ 養殖業
⑪ 栽培漁業
⑫ 観光業
⑬ 中国(中華人民共和国)
⑭ 世界遺産(世界自然遺産)
⑮ エコツーリズム

酪

B 力をつけよう

本誌 P.67

1

- (1) ① 小樽
② 知床半島
③ 中富良野
(2) (例) オーストラリアとは季節が逆になるため。
理由

2

- (1) A ジャガイモ
B 小麦
C てんさい
(2) (例) 濃霧の影響を受けて、夏でも気温が上がりにくい。理由
(3) ほたて、こんぶ
※順不同可。

B+ 資料の活用

- (1) (例) 地力の低下を防ぎ、収穫量を安定させるため。理由
(2) 24
※整数でなければ不可。
(3) (例) 大型の農業機械を使っているから。理由

- 1(2) オーストラリアは日本とほぼ同経度で、南半球にある。

まるつけのミカタ! (2)

ここがカギ オーストラリアとは「季節が逆になる」ということを書く。

- 2(1) Cは北海道以外で生産されていないことからてんさい、Bは、二毛作などが行われている福岡が含まれていることから小麦と分かる。
(2) 根釧台地では酪農が盛んである。

まるつけのミカタ! (2)

ここがカギ 濃霧の影響で「夏でも気温が上がりにくい」ということを書く。
これもOK 夏に濃霧が発生して気温が上がりにくい気候であるため。

B+ 資料の活用

(1)

まるつけのミカタ! (1)

ここがカギ 「地力の低下を防ぎ」、「収穫量を安定させる」ということを書く。
これもOK 同じ作物を作り続けることで、地力が低下し、収穫量が減ってしまうを防ぐため。

- (2) $37.8 \div 1.6 = 23.6 \dots$ より、約24倍ともとめられる。

まるつけのミカタ!

日本の農家1戸あたりの耕地面積

と かし
十勝地方
37.8ha

(2015年)

北海道
23.8ha北海道以外の
都府県の平均
1.6ha

(農林水産省資料)

十勝地方の農家1戸あたりの耕地面積は、北海道以外の都府県の平均の約24倍もある。

読みとり!

(例) 大型の農業機械を使っているから。理由

ここがカギ 「農業機械を使っている」ということを書く。

これはNG 多くの人出を使って耕作しているから。

→ 広大な土地を人の手だけで行うのは難しい。



1haは、100m×100mの広さだよ。



ポイントの整理

北海道地方

- ① 石狩平野 ⑦ 太平洋 ⑬ アイヌ ⑰ 栽培漁業
② オホーツク海 ⑧ 濃霧 ⑭ 泥炭地 ⑱ 北洋漁業
③ 十勝平野 ⑨ 流水 ⑮ 品種改良 ⑲ 利雪
④ 根釧台地 ⑩ 開拓使 ⑯ 輪作 ⑳ エコツーリズム
⑤ 亜寒帯(冷帯) ⑪ 屯田兵 ⑰ 酪農
⑥ 日本海 ⑫ 札幌 ⑱ 養殖業

本誌 P.69



確かめ問題

北海道地方

1

- (1) 有珠山
(2) イ
(3) (例) 厳しい寒さを防ぎ、室内の暖かさを外に逃がさないようにするため。目的
(4) X イ
Y ア
Z ウ
(5) ジャガイモ
(6) (例) 各国が排他的経済水域を設定し、漁ができる範囲が限られたから。理由
(7) エコツーリズム
(8) イ

- 1(1) 有珠山の近くには洞爺湖とよばれるカルデラ湖がある。

- (2) Cは日高山脈。飛騨山脈は中部地方にある日本アルプスのひとつ。

- (3) 雪の多い地域では、雪に備える生活の工夫がみられる。

まるつけのミカタ! (3)

ここがカギ 「厳しい寒さを防ぎ、室内の暖かさを外に逃がさない」ということを書く。

これもOK 雪が室内に入り込むを防ぐとともに、室内の暖かさを外に逃がさないようにするため。

- (4) Xは石狩平野、Yは十勝平野、Zは根釧台地である。

- (5) 茶は静岡県、さつまいもは鹿児島県、レタスは長野県がそれぞれ生産量第1位である。(2018年)

- (6) 排他的経済水域とは、領海の外側で、沿岸から200海里(約370km)以内の海域。

まるつけのミカタ! (6)

ここがカギ 「各国が排他的経済水域を設定」し、「漁ができる範囲が制限された」ということを書く。

これもOK 各国が排他的経済水域を設定したため、漁ができる範囲がせまくなったから。

- (8) Pの耕地面積に占める田の面積の割合は次のとおり。

北海道… $222 \text{ [千ha]} \div 1145 \text{ [千ha]} \times 100 = 19.38 \dots \%$

全 国… $2405 \text{ [千ha]} \div 4420 \text{ [千ha]} \times 100 = 54.41 \dots \%$

Qの農業従事者1人あたりの農業産出額は次のとおり。

北海道… $12593 \text{ [億円]} \div 104 \text{ [千人]} = 121.0 \dots \text{ [十万円]}$

全 国… $91283 \text{ [億円]} \div 3399 \text{ [千人]} = 26.8 \dots \text{ [十万円]}$